

『私の最後の羊が死んだ』<2025年3月号>

河崎 秋子／著(小学館 2024.11)

場所:一般【914.6／カワ】

酪農家で育った著者が『羊飼』に!?

羊に惹かれたのは、大学時代のバーベキュー大会で、その美味しさに気付いてしまったから…。

海外や国内の牧場で経験を積み、多い時には40~50頭を飼育し、100kgオーバーの羊を育てるまでに、羊の飼育や商売としての苦労、出会った人々、本格的なジンギスカンのレシピまで、15年間の記録がぎっしり詰まっています。

『家族のレシピ』<2024年6月号>

NBS「看取りを支える訪問診療」取材班／著(幻冬舎 2024.01)

場所:一般【916／エヌ(別置:闘病記文庫)】

家でも職場でもいつも楽しんで料理を作っていた母。余命宣告を受けた母親が、最期に家族へ遺したものは、闘病記とレシピノートでした。

大切な人との永遠の別れ、それでも続いていく残された家族の暮らしの中で、母の味、母との思い出、家族を思いあう大切さが伝わってきます。

長野県のニュース番組が家族に寄り添い、密着取材した三嶋家の物語です。

『時かけラジオ 鎌倉なみおとFMの奇跡』<2024年4月号>

成田名璃子／著(KADOKAWA 2023.03)

場所:一般【B913.6 /ナリ】

鎌倉にあるローカルラジオ局「鎌倉なみおとFM」は22時までで番組を終了している。でも、なぜか23時から番組が流れることがあり…。

1985年を生きるDJトッシーが未来のリスナーたちと繋がり、悩みを解決へと導いていく。過去と未来がつながるといふ奇跡のようなお話ですが、読んだ後にホッと心が温まります。そして、ラジオをつけたくなるかもしれません。

≪発行≫

関市立図書館 指定管理者 学校法人岐阜済美学院

TEL: 0575-24-2529 / FAX: 0575-23-7780

E-mail: lib@city.seki.gifu.jp

2025.03発行

司書のおすすめ ≪2024年版:大人の本≫

SEKI CITY LIBRARY

BOOK REVIEW

※2024年4月号~2025年3月号の図書館だよりで紹介した本



『シンプルで脳科学的に正しい読書法』<2024年5月号>

茂木健一郎／著(PHP研究所 2024.03)

場所:一般【019.1 /モギ】

AI(人口知能)による技術革新がすさまじい現在、読書をしなくても情報や知識はAIやインターネットで良いという考えが増えてきているようです。しかし、読書で脳の機能を高めることにより、集中力が養えたり、ストレスが軽減されるなど、良い効果が得られると脳科学的に解説されています。教養を深めるための本や読み方も紹介されていますので、参考にされると良いかと思います。

『えほんとりっぷ』<2024年10月号>

ふわはね／著(世界文化社 2024.04)

場所:一般【024.1 /フワ】

近頃、様々なスタイルで本を提供している場所が多くみられます。この本は著者が実際に巡った、全国130軒の絵本屋さんとその周辺のガイド本です。絵本専門店や書店だけでなく、カフェ、ギャラリー、絵本美術館、図書館など多彩に紹介されています。こだわりのラインナップ、個性的な建物や内装も魅力的な場所が多く、思わぬ絵本との出会いがありそうな予感をさせてくれます。

『おとなも遊べる水族館・動物園』<2025年1月号>

TAC出版編集部／著(TAC株式会社出版事業部 2024.11)

場所:一般【291.0/タツ】

ハシビロコウにはどこで会える？

ラクダに乗れるのはどこ？

カワウソの肉球がぷにぷにしているって本当？

直接触れあったり、スタッフとの楽しいやりとりを間近で見たり。バックヤードの体験が出来たりと、見るだけじゃない水族館や動物園は子どもから大人まで楽しめそう♪

充実したおみやげや現地でしか食べられない食事(スイーツ)は大人だから楽しめるのかも！

『につぼんの花地図 神社・お寺の花と桜の絶景』<2024年9月号>

はなまっぴ／著(KADOKAWA 2024.03)

場所:一般【291.0/ハナ】

“お花見”と聞くと桜の花を連想することが多いかと思いますが、桜以外にもお花見したくなる花はいっぱいあります。春だけでも“藤”に“ツツジ”、“牡丹”に“石楠花”…。

この本では季節別に全国の神社やお寺の花の名所を写真付きで紹介しています。好きなお花を見に実際に足を運んでみると、お気に入りの場所が見つかるかもしれません。この本を眺めているだけでもピクニック気分が味わえます！

『双子のひみつ 魅惑のツイン文化史』<2024年12月号>

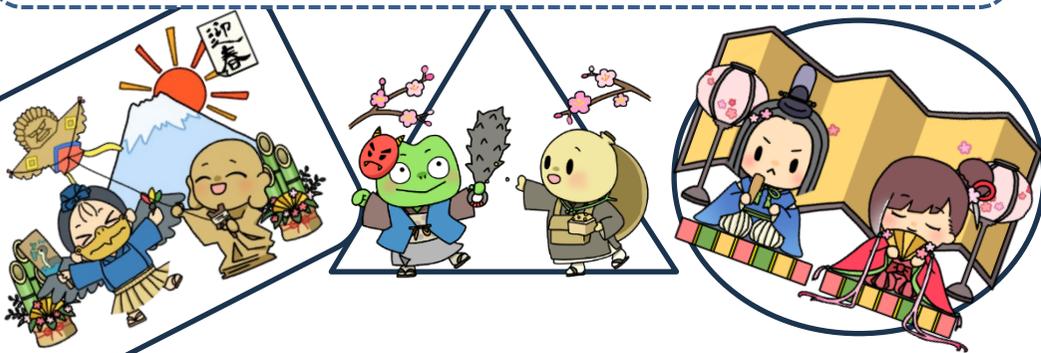
ウィリアム ヴァイニー／著(グラフィック社 2024.02)

場所:一般【361.5/パイ】

双子。時々みかける。おんなじ顔。違う顔。各学年に数組。

神話や伝説、科学や超常現象などいろいろな切り口から、自分自身も一卵性双生児の片割れの著者が、双子について考察した本です。

双子の方も、そうでない方も、ご興味のある方は手に取ってみてはいかがでしょうか



『辰巳芳子という生き方』<2025年2月号>

文化出版局／編(文化学園文化出版局 2024.03)

場所:一般【596.0/タツ】

2024年12月、100歳になられた辰巳芳子さんは料理研究家です。

病気で食べることが出来ない人でも、効率よく栄養を取り込むことが出来るため、スープは命を支えるものとして大切にされ、自宅でスープ教室を主宰し多くの教え子にその大切さを伝えられました。また、「大豆100粒運動」を行うなど、料理研究家という肩書を越えた活躍をされた辰巳さん。そのレシピと人生を味わってみませんか？

『学芸員しか知らない美術館が楽しくなる話』<2024年7月号>

ちいさな美術館の学芸員／著(産業編集センター 2024.01)

場所:一般【706.9/チイ】

美術館、展覧会、作品そのものを楽しむためのヒントがちりばめられた1冊です。「展覧会はどうやって作っているの?」「学芸員ってどんなお仕事?」「美術館をもっと楽しむためには?」「美術館を支える仲間には他にどんな人がいるの?」学芸員しか知らないこんな舞台裏を、現役の学芸員が教えてくれます。読めば明日からの美術館めぐりが、もっとおもしろくなるかもしれません。

『インド沼 映画でわかる超大国のリアル』<2024年11月号>

宮崎 智絵／著(集英社インターナショナル 2024.08)

場所:一般【778.2/ミヤ】

インド映画の登場人物はなぜ踊るのか、気になったことはありませんか? 映画の製作本数世界1位を誇る、映画超大国インド。この本ではそんなインドのリアルな暮らしについて、一昨年日本でも大ヒットした『RRR』など、40以上のインド映画を取り上げて紹介しています。魅力的なインド映画の世界にふれて、あなたも「インド沼」にはまってしまいかも……。

『手紙の楽しみ』(暮らしの図鑑シリーズ) <2024年8月号>

暮らしの図鑑編集部／編(翔泳社 2024.04)

場所:一般【816.6/クラ】

手紙の書き方から文房具まで。友達や国外の人に送るカジュアルな手紙を書くための情報がたくさん詰まった本です。マスキングテープやシーリングワックス(封蝋)などを使ってアレンジする方法も載っています。

スマホやパソコンを使ってメールを送ることが多い現代社会。息抜きもかねて自分流にアレンジした手紙を書いてみるのはいかがでしょうか。道具を集めるだけでも楽しいですよ。